

# 私たちの「仲間たち」

297

## 営巣地を変えた？

その巣は意外にも山道のすぐそばにあった。東京電機大学の東側に埋め立て地に向かって伸びる林道がある。その先20メートルほどの斜面にあるコナラの木に、小枝を積み上げた大きな巣があった。「オオタカのものか？」と思ったほどだった。しかし、見慣れたオオタカの巣とは少し何かが違う。それを確かめようと5月のはじめに出かけてみた。以前より巣の厚みが増していた。木間越しに覗くと大きな鳥が縁に立っていた。私の姿に気づいたのかすぐ飛び去ったが、のど元に見覚えのある斑紋があった。ノスリだった。



▲鳩山の動植物ノスリ（タカ科）



◀町内で見つけたノスリの巣

ノスリはカラスぐらいの大きさで、羽をを広げると翼角よくかくというところに黒い斑紋があり目立つのですぐ分かる。秋になると鳩山にも姿を見せる。秋の天空を輪を描きながら餌を探す。少なくとも10年ぐらい前までは、ノスリは秋から春先にかけて里に下りてくる猛禽類もうきんだった。ところが近年、春になり夏になっても里に留まるものが増えてきた。理由はノスリに聞かないと分からないが、里の方が餌が多いとか、巣をつくる場所が山より恵まれていて、そういう理由で生息地を変えてきたのかもしれない。10年近く前、こども動物自然公園でこのノスリがオオタカの巣を乗っ取った例を目撃している。結構荒っぽいタカであることが分かって認識を新たにしたい。

5月末に行ったときにはかなり成長した雛ひなが2羽巣の中にいたが、カメラを持っていかなかったのが証拠写真は撮れなかった。悔しい思いをしたので6月に入って早々、400ミリのレンズを付けたカメラを手に出かけたが、巣の中はもぬけのカラ、巣立った後だった。そのため写真は主のいないしまらないものになってしまったが、ノスリが人の生活する近くで繁殖したことが分かって、せめても収穫となった。

（写真・小倉憲貴／文・鈴木伸）

## ご意見をお寄せください

私たちの「仲間たち」は、おかげさまで間もなく300回を迎えます。広報はとやまでは、これをひとつの節目として、本連載を一旦休載とし、新たな紙面企画を検討しています。新企画の内容について、皆さまからのご意見をお待ちしています。ご意見は左記までお願いします。

- 皆さまからいただいたご意見は、今後の紙面企画の際に参考とさせていただきます。

## 人口と世帯

9月1日現在、（ ）は対前月比

人口	14,517人	(-26)
男	7,176人	(-11)
女	7,341人	(-15)
世帯	5,875世帯	(-5)
8月の出生数	5人	

## 10月の納税・納付

町・県民税	(第3期)
国民健康保険税	(第4期)
後期高齢者医療保険料	(第4期)
介護保険料	(第4期)

- 納期限を過ぎないように、コンビニ納付や口座振替をご利用ください。

## 編・集・室

▼敬老会の会場で、金婚を迎えたご夫婦に、夫婦満々の秘訣をお聞きしました。「円満ではありませんよ。よくケンカしてます。」と笑いながら話すご夫婦。「昔は一緒にスポーツ観戦に出かけました。今は二人で、テレビで見えますよ。」とにこやかに話すご夫婦。

人生を長く共に過ごすということは、二人で過ごす時間と、そこに会話を生むことから逃げないことなのかもしれません。

## 広報写真で振り返る町の歴史 ⑩



平成7年4月24日「総合福祉センター落成」高齢者のスポーツやレクリエーション活動と、デイサービス事業を行う複合施設が完成し、愛称が「はあとらんど鳩山」となった様子が伝えられています。【平成7年5月(No.273)号より】

◆9月号の「広報写真で振り返る町の歴史」コーナー内で、「平成6年5月(No.251)号」は「平成6年5月(No.261)号」の誤りでした。訂正してお詫び致します。